



広報なばり

2017年(平成29年) 6月10日号

主な内容

- 2……災害への備え
- 3……国保特定健診・後期高齢者健診
- 4……おもいやり駐車場利用証、不妊治療の助成制度
- 7……施設ご利用ガイド
- 8……男女共同参画週間

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp



名張市消防団長
岩木 政己さん

消防団活動を振り返って
私は、32歳のとき、同じ地域に住む先輩から誘われ、消防団に入団しました。それから、33年間消防団の活動を続けています。今までさまざまな火災現場

を見てきましたが特に印象に残っているのは、入団して間もないころにあった火災です。施設が全焼する大きな火事で、消火の途中で水が足りなくなり、川から水を汲んで消火に当たりました。その火災をきっかけに消防団での取り組みに一層真剣さが増しました。「いつも地域のために活動ありがとう。」と感謝の言葉を掛けてもらうこともあります。この言葉で、長く活動ができたのだと思います。

※岩木団長は、今年3月に日本消防協会特別功労賞を受賞されました。

消防団歴33年。これからも責任を感じながら活動を続けたい。

地域防災力の要 消防団

消防団は、本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」というボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。火災や大規模災害が発生した時には消火・救助・救出活動など地域住民のために活動しています。今号では、名張市消防団長の岩木さんから活動内容や活動への思いについて話を伺いました。

☎ 消防本部 消防総務室 ☎ 63・5990

消防団活動への思い

消防団員の構成は、昔と違って、今は、サラリーマンが9割を占め、勤務形態もさまざまです。全ての団員の出動が難しいこともありますので、各々の判断で対応していただいています。

消防団員に必要なのは、いざというときに動けるように日頃から体調管理をすることだと思います。訓練に訓練を重ねることで一致団結すること

とができると思います。たとえ出遅れた人がいても、助け合っていくことができます。「人は、力があるから重い荷物を背負えるのではなく、重い荷物を背負ったからこそ力を発揮できる」と考えています。責任ある職務を背負う若い団員たちは、経験を積む中で、活動の大切さを理解して、長く続けたいと思ってくれたらうれし

消火・救助



被害を食い止める

火災現場での消火活動や残火処理・再燃警戒をします。また、地震や風水害が発生したときの救助・避難誘導などを実施します。

訓練



技術の向上

定期訓練、消防操法訓練、夏期訓練、出初式など、災害に備えて現場に即したさまざまな訓練や研修を実施しています。

啓発



未然に防ぐ

市内のさまざまなイベントで防火演技および救命講習、年末特別警戒などの啓発活動を行います。

Q

消防団ってどんなことをやっているの？

A

例えば、こんなことをしています

わがまちを守る 消防団員募集



入団資格 市内在住の18歳以上の人
※年齢上限なし

入団後の主な待遇

- ▼年間一定額の報酬、災害や訓練に出動した場合の手当
- ▼消防団活動中に負傷した場合の補償制度や福祉共済制度
- ▼必要に応じて勤務先へ「出勤証明」を発行

詳しくは、消防総務室 ☎ 63・5990まで

名張市消防団

名張市消防団の歴史は、明治20年3月に設立した消防組に始まります。現在市内には、本団(女性部含む)と9つの地区に分かれた分団があり、19歳~74歳までの452人が在籍しています。

消防団員数 <平成29年4月現在>

本団	3	薦原	44	赤目	41
女性部	18	美旗	45	箕曲	61
市街地	34	比奈知	48	国津	43
蔵持	55	錦生	60	合計	452人